

○ 本校の概要

○本校は、本年度99周年を迎え、常に地域と密接に関わりながら発展してきた学校である。今年度、大田区教育委員会教育研究推進校としての発表を控え、研究主題を「未来をつくる健康教育」とし、地域にある東邦大学大森病院とも連携を図り、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力や他者や社会の安全に貢献できる資質、能力をもった児童を育てるために全教職員で教育活動に取り組んでいる。また、基礎的・基本的な学力の定着を目指し、授業改善を行いながら粘り強く日々の授業を展開しており、日々伸びがみられるようになってきている。学習習慣の定着と授業改善によって、今後もこの傾向を維持していく。また、生活面においては、規範意識や基本的な生活習慣が見られる。研究推進委員会、生活指導委員会、生活指導部を中心に継続的に規範意識、基本的な生活習慣の定着に向けて取り組んでいく。日々、「挨拶ができる学校」を目指し、挨拶運動等の取組を進めてきたことで、地域からも認められる成果を得るまでに至っている。今後も「挨拶」「言葉遣い」に力を入れ、家庭・地域との連携を強化し、規範意識の向上・基本的な生活習慣の定着に努める。

○本校の特色として「地域との連携」を挙げることができる。「人との関わり・地域との関わり」と称して、近隣教育施設との連携や、大森町・梅屋敷の二つの商店街や中小の町工場と連携した学習、「スクールサポートおおさん」を中心とした地域人材の活用による協働の取組などとして評価されている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組 今後の改善策, 評価 人数, 学校関係者記入欄. The table contains detailed data for various evaluation items such as 'Communication Skills', 'Child Development', 'Physical Education', 'Sports Habits', 'Child Safety', 'Teacher Development', and 'Community Cooperation'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評